



昭和43年ごろ、商工祭の一環として中土橋で開かれた自動車ショウ

あきたノスタルジー

秋田の昔を、写真で振り返ります。

昭和43年ごろの自動車ショウで、千秋公園の中土橋にズラリと並び流行(はやり)の車。

各メーカー選りすぐりの特選車を自慢げにドーン！と展示。

丸みを帯びたボディーに丸目のライトはどこか愛らしく、愛着がわいてきます。

当時、普通車1台の値段はクラウンで約100万円。

30歳の公務員の月給は34,000円ほどでしたから、自家用車はとても高級品でした。

30数年経ったいま、車が2台ある家庭も珍しくなくなってきました。

車の性能は着実に進歩しています。

電気自動車、低公害車...。これからどんな便利な車が出てくるのでしょうか。

でも、ドライバーのみなさん、安全運転だけは忘れないでくださいね！



バレエ 新「白鳥の湖」全幕

(財)松山バレエ団

壮大なスケールと叙情的なメロディーの中で、16世紀ドイツ王国の王子とオデット姫の恋物語を通して、人間の勇敢な行動と愛の強さを表現した物語...

問い合わせ 秋田市文化会館 ☎(865)1191

11月17日(日)午後3時開場
秋田市文化会館大ホール

入場料

全席指定

S席8,000円 A席6,000円
B席4,000円 C席3,000円

入場券
発売所

秋田ステーションデパート・トピ
コ、ほんきん西武、秋田ニューシ
ティ、秋田市文化会館